

「幼児教育」ってどんなシゴト？

世界の現状は？

子どもたちの好奇心旺盛なくるくる動く目は世界中どこでも変わりありません。

しかし保育現場は大きく違います。途上国では赤ちゃんは「何も分からない」とベビーベッドに寝かされたまま一日を過ごし、3歳からは急に勉強が始まります。一日の時間割には現地語や算数が含まれ、字を覚えたり、数字を唱えたり、子どもたちは一日の多くを机に座ったまま過ごします。これは現地の先生方が保育者として十分なトレーニングを受けずに、子どもの発達について十分な知識がないまま仕事にあたっていることが原因とされています。



写真提供：谷本 美加/JICA

「幼児教育」隊員とは？

キーワードは『遊びを通じた学び』の実践と推進



写真提供：久野 真一/JICA

幼児教育隊員は、多くの途上国で行われている、机に座った「授業」とは違う、手遊びや運動遊び、廃材を使った制作活動等を紹介し、子どもの発達に即した活動を促します。

活動形態は、一つの園で活動したり、地方の教育局に配属され、いくつかの幼稚園を巡回したり様々です。園での活動の他、定期的に現地の先生方に対するワークショップも行います。

幼児教育隊員には何が必要？

- ☺ 幼稚園教諭または保育士免許
- ☺ 3年以上の実務経験
- ☺ 子どもの発達についての知識

途上国の幼児教育は勉強中心のカリキュラムです。保護者からも読み書き算数の指導が期待されます。そのため、ボランティアが実践する「遊びを通じた学び」の活動や遊びがどのように子どもの学びやより良い発達に繋がるのかを説明できる力が求められます。

参考資料は？



『おおらかがいっぱい
一途上国を見てきた保育者からのメッセージ』
幼児教育ネットワーク
(2005年；公益社団法人青年海外協力協会)

途上国に住む子どもたちの生活を紹介している章、幼児教育隊員の活動を紹介している章、帰国後、協力隊の活動をベースに日本での生き方を紹介する章と、3章の中に、幼児教育隊員が経験する全てが詰まっています。各国の子どもたちの姿が現地の風景と共に写真に入っているので、プチ協力隊経験も味わえます。